

平成23年度確かな学力向上のための具体的取組 **評価**

大館市立積迦内小学校

ねらい：確かな学力の向上を図る

「確かな学力」		平成23年度の評価指標と実践課題	学校評価 自己評価B
①知識・技能の習得	○	基礎学力 ・学習の基礎基本の定着 ・自力解決の向上 ・活用力，思考力の向上 ・個に応じた学習指導の充実 ・調査の結果を活用した指導改善	() 昨年 4 (4)
②思考力・判断力・表現力の育成	○		
③学習意欲・学習習慣	○		
「確かな授業力」		教師の研修 ・授業交流による小・中交流 ・共通実践事項の取組の日常化 ・一部教科担任制の導入 ・実生活に基づく活用場面，活用問題を意識した実践授業の交流	4 (4)
④生徒指導の機能を生かした学習指導	◎		
		思いやりの心 たくましい心 ・互いに認め合い，励まし合う場の設定	4 (4)

共通実践事項	具体的な取組	達成状況	備考等(課題▲、成果○)
1 学力向上を目指した学校間の積極的な連携	<ul style="list-style-type: none"> 市教研交流授業や指導案検討会への参加 良い実践の共有化のための研修視察の伝達 ●日常的に互いの授業を見合うことや情報交換を行うことの奨励 ●一部教科担任制の導入の効果の検証 市「パワーアップの手引き」の積極的活用 	() 昨年 ○ ◎ (◎) ○ (◎) ◎ ○ (○)	○一部教科担任制の取組みにより，教師の専門性を生かした授業を行えただけでなく，たくさんの目で子どもを見るといふ生徒指導の面でも大変効果があった。
2 「活用する力」を育てるための授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●実生活における活用場面の意識化（実際場面を解く活動） ●活用問題の開発と支援の工夫 ・新学習指導要領のねらいから，1時間ごとの授業のねらい（基礎基本・つきたい力）を明確にした授業の取組 ・学習内容を深めるための言語活動の充実 ・体験学習の充実と地域学習材の活用 	◎ ○ ○ ○ (◎) 体験◎ 地域○	○実生活に活用できる力を付けるために，「問い」について研修をしたことにより，本時で付けたい力についても意識するようになった。 ○体験活動の充実により，生きてはたらく力が児童に付いたことが実感できた。 ▲さらに「分かる授業」の構築に努めることが必要。

(● 重要な課題であると考えられる具体的な取組)